

(8) 近畿



近畿地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いている。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

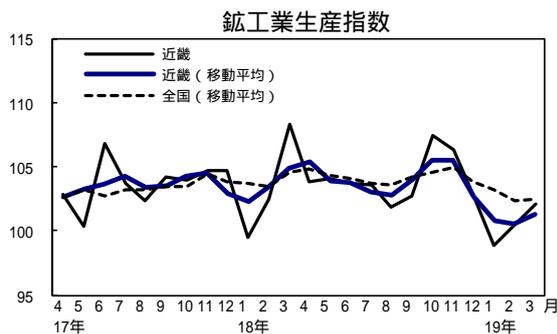
前回からの主要変更点

	前回(平成31年2月)	今回(令和元年5月)	
景況判断	緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	
鉱工業生産	持ち直し	おおむね横ばい	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

1 - 3月期には、「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、中国経済の減速の影響等もあり、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、中国経済の減速の影響等もあり、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。「食料品・たばこ」は、増加した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。
 2. 全国及び近畿の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 近畿は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
汎・生産・業務用機械	20.8	0.8	2.7	1.8	0.2	2.9
石油・石炭、化学、プラ製品	19.9	9.3	5.5	7.0	5.3	3.1
電子デバ、電気・情報通信	15.4	0.4	11.3	18.5	7.6	12.3
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	14.1	4.1	6.2	6.0	5.5	4.6
食料品・たばこ	8.7	2.8	6.0	13.1	4.2	4.8
鉱工業	100.0	2.7	4.8	3.9	1.6	1.6

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1 - 3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直しの動きが続いている。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

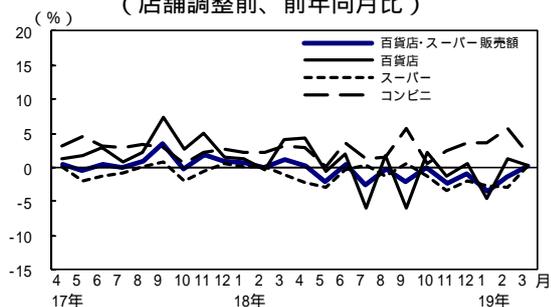
1月は前月比0.2%減、2月は同0.1%増、3月は同0.1%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、「婦人・子供服・洋品」を始め全てが振るわなかったことから、前年を下回った。2月は、「身の回り品」や「その他の商品」が好調だったことから、前年を上回った。3月は、「身の回り品」や「その他の商品」が好調だったことから、前年を上回った。

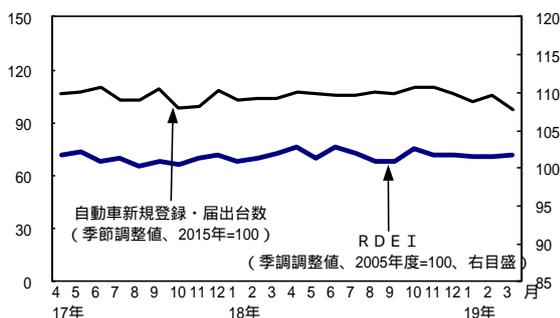
スーパーは、1 - 3月期は、「飲食料品」、「その他の商品」が振るわなかったことなどを受けて、前年を下回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2019年1 - 3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.4	0.2	0.1	0.1
百貨店・スーパー(*2)	1.6	3.5	1.4	0.1
百貨店(*3)	1.1	4.6	1.2	0.4
スーパー(*3)	1.9	2.6	2.9	0.0
コンビニ(*3)	3.8	3.5	5.7	2.3
乗用車(*4)	0.6	4.2	1.7	5.5
(季節調整値) (*4)	4.2	0.8	2.0	4.8

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



(備考) 1. 季節調整前(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の近畿(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前期を下回っている。

